
テイルズオブエクシリア～選ばれた転生者～

ガソリンスタンド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テイルズオブエクシリア～選ばれた転生者～

【Zコード】

Z0517Z

【作者名】

ガソリンスタンド

【あらすじ】

神様の上層部にリーゼ・マクシアの救世主として選ばれた少年は、魔術士オーフェンの音声魔術を武器にして、今旅立つ。不定期更新です。

第1話 転生（前書き）

なんか早速「タタタだなあ。

第1話 転生

真っ白で、壁も床も天井もなくて… そう、例えるなら、宇宙みたいに永遠に続く異空間。

なぜかそこに、俺は居た。

俺はついさきほどまで、寝ていたはずだが？
でも夢を見ているわけじゃなさそうだし。別に俺自身いかれたわけではない。だったら、なぜこんなことになっている。

『あ、いたいた』

女の子の声？

誰？他にも人が居たのか。

『はい、神様です』

神様？俺の目の前に神様が居るんだ？

『だって、ここは天界だもん』

天界！？やつぱり夢じゃないのか。

『残念ながら、ここは本物の天界だよ…ハア』

どうした？

『どうも君は、上層部からのお呼び出しがしたい』

神様に階級なんて、あんのか。

『うん、私は神様と言つても、世界の案内人って言われる方が多いよ』

世界の案内人に上層部……呼んだって言つたんだよな。俺みたいな平凡高校生に何の用がある？

『そつかあ、地球の人間からすれば、君は珍しくないだよね。上層部が苦労して見つけた、能力を宿すことができる人間なのに』

おい、何言つてるんだ？

『あ、「じめん」じめん。君をここに呼んだ理由だね。理由はリーゼ・マクシアって言つ世界と一緒に救つてほしいの。』

聞いたこともない。世界だな。それに救つてほいってことは、滅びかけそうな世界か？

『うん……その世界は、生き物が気付かぬうちに、滅びを迎えているの』

だから俺を呼んだと。呼ぶなら、もっと強そうな人間を呼んだ方が良かつたと思うんだけどよ？

『だから君を呼んだんだよ。君が一番適任つて、上層部は言つてたもんね』

適任…………そう言えれば、俺は能力を宿せる人間だつて、言つたつけ。それだから適任なのか？

『うん、君には音声魔術・オーフェンの力が扱えるらしいんだ。どうも地球では効力が発揮できていなかつたみたいだけどね』

音声魔術つて、ライトノベルの魔術士オーフェンのあの能力か！

『そつそつ。我へなんたらかんたら言つたのオーフンだよ』

へえー、面白いな。

よし決めた。行くてか行かせてくれ。

『本当にー。』

ああ、いきなり俺を呼んだとは言え、世界が滅びるのを黙つてみるほど、度胸ねえぞ。

『分かった。だつたら、準備するから、少し待つて。君は先に、リーゼ・マクシアに行くときの容姿と名前を考えていてね』

分かった。じゃ、早くしてくれよ。

『はいハーヴィ』

…………魔術士オーフェンの音声魔術で、世界を救うねえ
…………面白くなりそうだな。

そして今日俺は、魔術士オーフェンの音声魔術の能力を付与され
て、リーゼ・マクシアに旅立つことになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0517z/>

テイルズオブエクシリア～選ばれた転生者～

2011年12月1日22時49分発行